

ふかめる

地球ひろば

ともにつくる ぼくらの未来

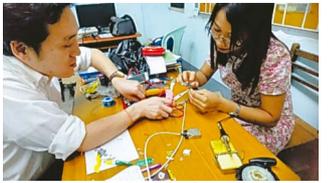
協力: JICA (ジャイカ)
https://www.jica.go.jp/hiroba/

ミャンマー①



今週のリポーター

日向泰史さん……日本では画像診断に使う医療機器のエンジニアをしていました。JICAの民間連携ボランティア制度を利用し、今年2月、青年海外協力隊としてミャンマーのヤンゴンへ派遣され2020年2月まで活動します。年間約10万人が利用するヤンゴン小児病院で、医療機器の管理のほか、現地エンジニアに技術的な指導もしています。



修理方法を現地のエンジニアに教える日向さん(左)

夢

画家になることが夢です。絵を描くことがとても好きだからです。



絵を描くのが好きです

Eaint Hmue Thakshinさん (11歳)

ミャンマー語 タミンサーピーーラ တမင်းစားပြီးပြီလား

こんにちは

勉強

ミャンマー語の読み書きが好きです。英語の授業もあります。将来はテレビで見たシンガポールに行ってみたくて、英語も頑張つて勉強したいと思います。

通っている学校の前で。顔に塗っているのはタナカといいます



家族

お父さんとお母さんと私の3人家族です。お父さんの仕事は病院のエンジニアで病院のいろいろな機械を修理できて、すごいと思います。病院の大切な仕事です。



エインムーさん一家。パヤーの前で



炒めご飯のタミンジョー

遊び

友達と遊ぶトウツシー(鬼ごっこ)が好きです。休日に友達とするトウトウポウン(かくれんぼ)も好きです。

食べ物

朝、お母さんが作ってくれる、タミンジョー(炒めご飯)とチェウーチョー(卵炒め)が大好きです。

交換します



パヤーには毎週水曜日の夜に行きます。お花を

ミャンマーの自慢

パヤー(仏教の塔)は、とてもきれいです。伝統工芸品も素晴らしいです。



傘も伝統工芸の一つです。骨組みは竹で紙や布を張って作ります



ミャンマーの鬼ごっこ、トウツシー

仏教の教え 暮らしの中に

ミャンマーは国民の9割近くが仏教徒で、仏教の教えをとても大切にしながら生活しています。パヤー(バゴダ)という仏塔が数多くあり、仏様が祭られているパヤーは、最も大切な場所です。ミャンマーの仏教には「よいことをすれば、来世にもよいことが訪れ、悪いことをすれば、それがそのまま来世で自分に返ってくる」という教えがあります。日本にも「徳を積む」という言葉がありますが、似たような考え方は、そうですね。そうした教えのためか、ミャンマーには、困っている人がいます。

たら進んで助ける、皆で助け合うという思いの人が多い印象を受けます。ミャンマーのあいさつ「タミンサーピーーラ」は、そのまま訳すと「ご飯食べましたか?」です。友達がちやんとご飯を食べたかな?と気にかける仕草もよく見かけます。私も病院に出勤すると、医師がご飯を分けてくれたり、同僚のエンジニアがお弁当を作ってきてくれたり、お菓子をもらったりということが何度もありました。ですので、私もお返しに果物やジュースを持っています。

左から同僚のカインパンイさん、ニニーハンさんと娘のエインムータキンさん、日向さん。勤務する病院の前で



病院内の廊下では、皆いつも笑顔であいさつしてくれるので私もいつの間にか、人との間にか、人と会うと笑顔になる癖がついてしまいました。優しいにあふれ、お互いの生活や健康を気遣い合う文化がミャンマーの心なのだと思っています。